

実習②実習内容報告書(実習生用)1/2

実習生氏名 愛知 花子

受講生番号 123456

1	基本姿勢		心がけたこと	
	服装・身だしなみ		実習を行うのにふさわしい服装、また派手すぎず動きやすい服装を意識しました。	
	言葉づかい・コミュニケーション		初対面の方には、特に大きな明るい声で挨拶しました。御礼の言葉は、必ず行いました。	
	守秘義務		実習先が地元なので知り合いの方もみえました。情報交換の線引きに気をつけました。	
	実習に取り組む姿勢		私は、他の方よりも知識、経験が浅いので、とにかく教科書を読み予習復習しました。	
2	実習場面	指導日時・場所	現場でみて感じた事や見習いたいと思った事	※指導者からのコメントを実習生が記載してください
①	インテーク (同行・説明)	RO/O/O 10:20-10:40 事業所内	耳で聞くだけの説明と目で見ながらの説明は、どれだけ理解度が違うのかということがよく分かりました。また、相手方に分かりやすくはっきりと説明できる人になりたいと思いました。	まず制度のことを理解し、地域のインフォーマルサービスについてしっかり理解し、丁寧な対応が求められます。
	事例記号	RO/O/O 15:00-18:00 利用者宅及び事務所		
	A・B・C D・E・F・G			
②	アセスメント (同行・説明)	RO/O/O 10:40-11:00 事業所内	チェックポイントシート、ICF、主治医意見書、課題整理総括票等、様々な様式を活用して行うことが必要。まだ、質問内容によって聞き出したいことも変わってくるのでよく考えて質問したいです。	訪問前に認定情報など目を通し、必要な情報をケアマネ自身が考える作業も大切に。短い時間を有効に使う必要もあります。
	事例記号	RO/O/O 15:00-18:00 事業所内 利用者宅		
	A・B・C D・E・F・G			
③	ケアプラン作成 (説明)	RO/O/O 11:00-11:20 事業所内	居宅サービス計画に用いられるのは7種です。その人の望む暮らしをどのような方法で達していくのか、何を指していくのか等、きちんと予測できるようになって計画作成したいです。	達成可能な目標や評価のできる目標設定を意識し、利用者さんやご家族と一緒に考えていきましょう。
	事例記号			
	A・B・C D・E・F・G			
④	サービス担当者 会議 (同行・説明)	RO/O/O 11:20-11:40 事業所内	和やかな雰囲気を作り上げた中から、本題へと上手に切り替えができる人になりたいです。また、質問の中には、これからの生活変化の予測も含まれることが分かりました。	日頃の関係づくりもとても大切です。事業所間での信頼関係も大切にしてください。
	事例記号	RO/O/O 9:00-12:00 利用者宅		
	A・B・C D・E・F・G			

※「1.実習②実習日誌」を作成したうえで、この報告書に記載してください。

※「※指導者からのコメント」欄は、実習場面を担当した指導者との振り返り内容を受講生が記入してください。

実習②実習内容報告書(実習生用)2/2

実習生氏名 愛知 花子

受講生番号 123456

2	実習場面	指導日時・場所	現場でみて感じた事や見習いたいと思った事	※指導者からのコメントを実習生が記載してください
⑤	モニタリング (同行)	RO/O/O 11:40-13:00 利用者宅 14:00-16:00 事業所内	1回/ヶ月のモニタリングであっても、必要に応じて不定期の訪問があるということが、同行することによって分かりました。フットワークの軽いケアマネジャーになりたいです。	毎日変化があると思っ てください。いつでも 対応できることで安心 や信頼につながってい きます。
	事例記号	RO/O/O 13:00- 15:00 利用者宅及び事業 所		
	A・B・C D・E・F・G			
⑥	給付管理業務 (説明)	RO/O/O 13:00-15:00 事業所内	実際に利用票に実績を付けてみましたが、1行ずれると大変なことになって 分かりました。また、予定になかった ものが実績にあがる等注意すべき点 がたくさんあることに気づきました。	1ヶ月ごとの利用をみ るとその人の暮らしや 生活をみることもでき ます。しっかり行う作 業です。

(参考)事例記号(後期研修で学ぶ事例:テキスト第15章)

- A 脳血管疾患のある方のケアマネジメント
- B 認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント
- C 大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント
- D 心疾患のある方のケアマネジメント
- E 誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント
- F 看取りに関する事例
- G 地域共生社会の実現に向け他法他制度の活用が必要な事例のケアマネジメント

実習の振り返りの感想

モニタリング、サービス担当者会議と、現場同行の実習を実際に体験して、質問する裏には様々な意図があることがわかりました。特に、これからの利用者の生活変化の予測を考えて行動することができるには、たくさんの経験を通して身になると思うので、私ももっと多くの勉強をして利用者の立場で考えられるケアマネジャーになりたいです。

実習指導者からのコメント(この欄のみ実習指導者本人が記載してください。)

いろいろな場面で質問などされ、積極的に実習に取り組む姿勢が伝わってきました。サービス提供事業所のスタッフとして、今後ケアプランの見方や利用者さんの生活を知る大切さも学んでいただけたと思います。これから広い視野を持ち、いろいろなことを吸収しながら、ケアマネとしての仕事にもトライしてってください。お勤めしながらの実習で時間のない中、頑張っていたと思います。

実習施設名 Y事業所

事業所管理者 福祉 一郎 (直筆)

包括・特定事業所加算(I II III A (無))

担当主任介護支援専門員

(実習指導者) 福祉 太郎 (直筆)

<受講生様へ>

- ※演習第4日目に提出してください。
- ※「※指導者からのコメント」欄は、実習場면을担当した指導者との振り返り内容を受講生が記入してください。
- ※実習場面によっては「指導者」と「実習指導者(担当主任介護支援専門員など)」が一致しない場合もあります。

<実習受入事業所様へ>

※受入事業所は、「実習②実習内容報告書(実習生用)1/2・2/2」の控え(コピー)を必ず取り、その写しを第4号様式に添付してください。